



おもしろい ザウチナーグチ

盆の窪と 首里天加那志

方言が見直されているのか、たんなるブームなのか、最近よく質問される。先日我が大先輩の仲宗根喜栄先生から「牛ぬくブー」んてい言しえー、牛とう関係あるか、という質問があった。当方がトウヌーヌーしていったら、

「汝、調べいとーきよー」のこと。聞いてみると友人連中と牛ぬくブーが話題になり、当方に宿題を命じた次第。仲宗根氏は元教員だけに、命じるには長けている。早速調べて見た。先ず牛ぬくブーが牛と関係するコトバであれば牛のどの部位なのか。クブーは窪のことであるから、果たして牛に窪みがあるかどうか。首里在の久手堅先生に尋ねてみた。

こういう推理をした。首里からのコトバが地方に伝播していく過程でウシルからウシヌに変化していったのではないかと。ウシルクブーは（頭の後ろの）首筋の部分で窪みがあるところを指す。

首里にこういうコトバがある。「ウシルクブーや命どくくるどー、ウフチジャー（大豆の豆）し、当ていていん死すんどー」

喜栄先生にこの話をしたら感心することしきりであった。人間幾つになっても褒められるのはいい気持ちになる。

この牛ぬく窪はヤマトのコトバでは「盆の窪」であることが分かった。読んで字の如くであるが、江戸時代の幼児の髪型でもあるらしい。要するに首の後ろの窪みの箇所だけ髪を残したカットの仕方である。これなら首里のコトバと合致する。すかつと爽やか一件落着の瞬間。

つぎは後輩が経営している居酒屋があり、店主から「琉球国王」はウチナーグチでは何んでいいやびーが？」

これは即座に回答可能。琉球国王は琉球国王だよ。店主「……？」。ただし公用語では琉球国王といい、読み方は「リュウチウクククラー」なり。店主を喜ばすつぎのコトバもサービスした。

敬称でいうと「首里天加那志」・シユイティンガナシなりと。店主の当真君にっこりである。

「王妃」と答う。ウチナーバーションでは王妃はラーファイである。

質問万歳、回答万歳、質問大歓迎。



★おしらせ★ ブログ&Facebookページ 開設しました!

近頃は、「ブログ」に加えて「SNS」という言葉も耳にすることが増えてきました。

「SNS」とはSocial Networking Service(ソーシャルネットワーク サービス)を略したもので、人の繋がりを促進・支援するコミュニケーションツール、つまり、ネットを介して友人や知人と交流を図るWebサイト全般のことを言います。mixy(ミクシー)やTwitter(ツイッター)などが有名なので、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。

多々あるSNSの中でも、最近何かと話題の多いFacebookは、世界で8億人の登録者数を誇り、日本の登録ユーザーは約900万人というからすごいですね。特に沖縄は、Facebookユーザーの人口比率は全国でもトップ3に入るほど、多くの方が利用しています。

ということで、今回、弊社も流行に乗って、Facebookページ(登録していない方でも閲覧可)とブログを開設しました。

キャンペーンやイベント、講習会など開催のご案内や、役に立つ情報、地域情報や離島情報など、皆さんに楽しんで頂ける情報をお届けしています。Facebookに登録されている方は、「いいね!」を頂けると嬉しいです。

多くの皆さんに愛されるページを作成できるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

Facebook:<http://www.facebook.com/koyodenshi>

ブログ :<http://koyodenshi.ti-da.net>

「興洋電子 Facebook」または「興洋電子 ていーだブログ」で検索も可能です。